

暖かい2月とはいえ、今日は寒い雨が降っている戸塚です。でも、ミモザも咲き始め、2,3週間早まっている気がします。

さて、研修もあと1か月を残すだけとなった2年生。まもなく後輩を迎える1年生。それぞれの研修医の先生たちも、本当に頼りになるように成長しています。それぞれが異なる経験をしているはずですが、診療の本質をある程度つかんでくれたのでしょうか。種々の場面で任せても安心感があります。

先日救急外来が立て込んだ際にも、1年目と2年目の先生に任せて、私は説明の準備をするといったことができ、混雑時にも効率的な診療を行うことができました。

でも、この「説明」は研修医の期間ではなかなか実践が難しいですね。同じ病気の話でも、話し方で「回復方向」「悪化方向」どちらの印象が勝るかは変わってしまいます。単純に医学書に書いてあるような病気の性質と、ガイドラインにある治療法を述べて、「以上です」というわけにもいきません。どの説明もテーラーメイドで組み立てる必要があります。

できれば、上級医の説明時に同席すると良いと思いますが、なかなか一緒に入ることができません。特に悪い事柄をどのように伝えるのかは、「技術」もあるように思います。



私が心掛けているのは、漢字の連続は2字まで、言葉は丁寧に選ぶ、礼儀正しい言葉遣いを欠かさない、最後に悪いことの前に良いことを伝える、でしょうか。これは、それぞれの先生にスタイルがあると思いますけど。

前額部挫創を縫合中、創処置にはセンスも求められますよ。